

七大学若手会第3回花見大会が開催されました。

2017年4月1日(土)、七大学若手会(会長 許志国 京大経済学研究科2006年修了)が江東区にある猿江恩賜公園にて第3回花見大会を開催し、総勢66名(男性36名、女性30名)が参加しました。この花見大会では、京都大学、学士会のご後援をいただき、また青島ビール社様より青島ビールを協賛いただきました。

去年と同じく、華人交流機構の辛平会長を中心に、華人会が若手会の近くで花見をされており、若手会が華人会用の場所取りを支援しました。

幹事団は参加者により交流を深めて貰うため、複数回役員・幹事の家で鍋パーティーをしながら、真剣に議論・準備しました。また、交流企画を練るために会場となる猿江恩賜公園を下見し、企画の準備を入念に行いました。

なお、前日までの天気予報で当日の降水確率が90%と全く好転せず、最高気温も9°Cの悪天気でした。幹事団の努力と気持ち、複数の天気予報サイトや一日の降水量などさまざまな要件を総合的に考慮・分析し、Jico会長が終了時間を1時間早く切り上げる前提で、予定通りの日に開催と決定判断を下しました。前日夜、雨が止む気配なく続いていたにもかかわらず、前日夜の無料キャンセル期限までキャンセルが1人も出ず、当日の天気は雨から曇、晴の順と段々よくなり、若手会の歴史に残る花見大会となりました。

交流コンテンツとして「公園探検クイズ」、「ブレインストーミング」を用意し、初参加の人でも交流しやすく、また七大学若手会らしく知的なゲームとしました。各交流ゲームでは、日頃鍛えた頭脳とチームワークを駆使し、優秀な成績を収めるチームが続出しました。ブレインストーミングで多くの項目を挙げられた上位チーム3組はJico会長から表彰されました。担当役員酒井裕人氏は会を盛り上げるために自らヴァイオリンの腕を披露しました。雨風の中、G線上のアリア、Let It Go、トルコ行進曲などの有名曲の音色が響きました。

事前企画通り、二次会の開始を1時間程度早め、錦糸町の二次会会場へ移動しました。花見の交流効果が非常に良かったか、何と2次会は去年の倍以上の42名の参加となり、話題に尽きることなく大盛況のうちに終了しました。

次回の七大学若手会は、毎月定例の昼食会以外、6月10日(土)リコー取締役の講演会(年次総会)等を開催する予定です。詳細と参加申込は下記若手会ホームページをご覧ください。

七大学若手会ホームページ：<http://wakatekai.jp/>

七大学若手会経営陣一覧：<http://wakatekai.jp/7UYMS.pdf>

七大学若手会設立趣旨：<http://wakatekai.jp/7Usyushi.pdf>

		
<p>花見担当役員酒井裕人理事</p>	<p>若手会 Jico 会長</p>	<p>花見副担当役員李維佳理事</p>
		
<p>幹事団会議は役員と幹事の家で鍋</p>	<p>青島ビール社が大量のビールを協賛</p>	<p>企画の為に公園を下見した幹事団</p>
		
<p>若手会が猿江恩賜公園を「貸切」</p>	<p>酒井氏のヴァイオリン演奏</p>	<p>宝探しの決めポーズ</p>
		
<p>参加者の熱意で段々晴れてきた天気</p>	<p>prestに真剣な参加者たち</p>	<p>prest一位チーム</p>
		